

# 日赤医学投稿規程

1. 本誌への寄稿は、赤十字関係者のみならず、一般よりも受ける。
2. 本誌は、年4回発行する。
3. 本誌には医歯薬学の綜説、原著、症例報告、雑報等を掲載する。これらは未発表のものに限る。
4. 本誌への投稿については、以下の基準による。
  - a 原稿は、B 5 又は A 4 の大きさの400字詰横書き原稿用組に楷書で明確に書き、専門用語以外は常用漢字、現代かなづかい（平仮名）を用いる。
  - b ワードプロセッサ、タイプライターを使用する場合は、B 5 又は A 4 の大きさの用紙を用い、1 頁400字詰とし、行間は5 mm 以上あける。
  - c 外国語は、ワードプロセッサまたはタイプライターで打つか、活字体で書く。
  - d 数字は算用数字を用い、度量衡の単位は cm, g, ml 等, C.G.S 単位による。
  - e 引用文献は、論文の末尾にまとめ、引用番号は本文の引用順による。本文中の引用箇所には肩番号をつける。文献の書き方は下記のように統一し、欧文雑誌の略称は、最近の Index Medicus に従う。

＜雑 誌＞著者、表題、雑誌名、巻、起始最終頁、西暦発行年。

＜単行本＞著者名、書名、版数、巻数、発行地、西暦発行年、引用頁、引用文献の著者氏名、編集氏名は、3 名以上の場合は最初の 2 名を書き、その後に他または et al. をつける。

雑誌例 1) 細川裕一、川島勝太郎：空中落下細菌の調査。日赤医学17：216-220, 1965。

2) Heathfield KWG & Miller AB: A family showing both dystrophia myotonica and spastic paraplegia. Neurology 15: 481-485, 1965.

単行本例 1) Jackson R: The cervical syndrome. 2nd ed, Charles C Thomas Publisher, Springfield, 1965, p. 94-

2) Zwan AVD: Late results from prolonged traumatic unconsciousness. In: The late effects of head injury. (ed. by Walker AE, Caveness WF, et al), Charles C Thomas Publisher, Springfield, 1968, p. 138-

- f 筆頭著名と異なる所属の著者名には、必ず肩番号をつけ正確な所属を示すこと。
- g 学術論文には必ず欧文表題（著者名および所属を含む）をつけること。キーワードを3語つけること。
- h 原稿の送付先ならびに原稿に関する問い合わせは下記へ。

〒543 大阪市天王寺区筆ヶ崎町 5-53 大阪赤十字病院図書室気付

「日赤医学」編集チーム

- i 原稿の採否は、編集チームにおいて決定する。
- j 刷り上がり1頁は、図・表を含まない場合、およそ400字詰原稿用紙4枚の内容を掲載できる。
- k 論文の掲載料は別途徴収する。写真および図表は、写植のできる状態で提出して戴き、掲載については別途に料金を徴収する。カラー写真については、実費を徴収する。
- l 掲載論文の別刷りは30部まで無料とし、これを超過した別刷りについては50部単位で実費負担をお願いする。
- m 郵送中における紛失事故などに対処するため、論文は2部提出戴き原本のコピーを保存しておくこと。

日 赤 医 学

監 修 清 水 達 夫

編 集 委 員 (順不同)

吉田 秀彦, 蜂谷 勉, 弘野慶次郎, 渡邊 秀男, 那須 芳

「日赤医学」第四十八巻第二号

平成八年九月十日印刷

平成八年九月十五日発行

大阪市天王寺区筆ヶ崎町五―五十三

大阪赤十字病院

発行人 清水 達 夫

大阪市中央区平野町二―一二

印刷所 共同印刷株式会社

発行所 大阪市天王寺区筆ヶ崎町五―五十三

大阪赤十字病院

出版所兼 日赤医学出版所

振替大和銀行鶴橋支店  
普通口座年八一―一五

●入会申込及投稿に關しての照会は出版部又は  
発行所へ御願ひ致します。

●広告の申込及照会は左記へ願ひます。

大阪市中央区平野町三ノ二ノ十三

平野町中央ビル

福田 商店 広告 部